

建築分野で建築意匠設計をめざす

想定される具体的な進路・職種

建築意匠設計・インテリアデザイナー

建築学においては総合的な能力が必要とされるため、一級建築士受験資格を得るための必修科目でもある建築史、建築計画、建築環境、建築構造、建築材料の各概論を始めとするコア科目を履修することを前提とします。そのうえで、建築意匠設計をめざすための専門科目である建築デザインⅡ・Ⅲ、都市計画、日本建築史、アジア建築史、近代建築史などを履修することで、建築意匠設計に必要な知識や方法を身に付けることができる履修モデルを設定しています。

■ - 必修科目 ■ - 選択必修科目 ■ - 選択科目 ■ - 自由科目

区分	授業科目				
	1年次	2年次	3年次	4年次	
理工学部総合基礎部					
専門教育部門	理工学基礎科目	コンピューターリテラシー	技術者倫理		
	計画	建築計画概論 デザイン基礎Ⅰ・Ⅱ	建築計画Ⅰ・Ⅱ 都市計画 CADデザイン 基本空間デザインⅠ・Ⅱ	建築計画Ⅲ インテリアデザイン 建築法規行政 建築デザインⅠ・Ⅱ 生活空間計画	地域計画 建築デザインⅢ
	歴史・意匠	建築史概論	西洋建築史	日本建築史	
	環境・設備	建築環境概論	建築環境物理 建築環境工学 建築環境計画Ⅰ 建築設備概論		
	構造	構造力学概論 構造力学Ⅰ 建築構造概論	構造力学Ⅱ・Ⅲ 建築構造計画 建築各種構造Ⅰ・Ⅱ		
	材料・生産	建築材料概論	建築材料 建築材料実験 建築工法		
建築総合	ワークショップ	建築応用数学	数値計算法 ゼミナールⅠ・Ⅱ	卒業研究・卒業制作	

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

建築分野で構造設計技術者をめざす

想定される具体的な進路・職種

建築構造設計

建築学においては総合的な能力が必要とされるため、一級建築士受験資格を得るための必修科目でもある建築史、建築計画、建築環境、建築構造、建築材料の各概論を始めとするコア科目を履修することを前提とします。そのうえで、構造設計技術者をめざすための専門科目である構造力学Ⅲ、Ⅳ、金属系構造デザイン、コンクリート系構造デザイン、耐震工学、都市防災などを履修することで、構造設計技術者に必要な知識や方法を身に付けることができる履修モデルを設定しています。

■ - 必修科目 ■ - 選択必修科目 ■ - 選択科目 ■ - 自由科目

区分	授業科目				
	1年次	2年次	3年次	4年次	
理工学部総合基礎部					
専門 教育 部門	理工学 基礎科目	コンピューターリ テラシー	技術者倫理		
	計画	建築計画概論 デザイン基礎Ⅰ・ Ⅱ	建築計画Ⅰ・Ⅱ 都市計画 CADデザイン 基本空間デザイン Ⅰ・Ⅱ	建築法規行政 建築デザインⅠ	
	歴史・意匠	建築史概論	西洋建築史	日本建築史	
	環境・設備	建築環境概論	建築環境物理 建築環境工学 建築環境計画Ⅰ 建築設備概論	建築設備工学Ⅰ	
	構造	構造力学概論 構造力学Ⅰ 建築構造概論	構造力学Ⅱ・Ⅲ 建築構造計画 建築各種構造Ⅰ・ Ⅱ	建築構造デザイン Ⅰ・Ⅱ 建築構造実験 耐震工学 都市防災	構造力学Ⅳ 建築構造設計
	材料・生産	建築材料概論	建築材料 建築材料実験 建築工法	生産工学Ⅰ・Ⅱ	
	建築総合	ワークショップ	建築応用数学	数値計算法 設計総合演習 ゼミナールⅠ・Ⅱ	卒業研究・卒業制 作

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

建築分野で環境・設備設計技術者をめざす

想定される具体的な進路・職種

建築設備設計

建築学においては総合的な能力が必要とされるため、一級建築士受験資格を得るための必修科目でもある建築史、建築計画、建築環境、建築構造、建築材料の各概論を始めとするコア科目を履修することを前提とします。そのうえで、環境・設備設計エンジニアをめざすための専門科目である建築環境工学、建築設備工学、建築環境実験、建築環境計画などを履修することで、環境設計エンジニアに必要な知識や方法を身に付けることができる履修モデルを設定しています。

■ - 必修科目 ■ - 選択必修科目 ■ - 選択科目 ■ - 自由科目

区分	授業科目			
	1年次	2年次	3年次	4年次
理工学部総合基礎部				
専門 教育 部門	理工学 基礎科目	コンピューターリ テラシー	技術者倫理	
	計画	建築計画概論 デザイン基礎Ⅰ・ Ⅱ	建築計画Ⅰ・Ⅱ 都市計画 CADデザイン 基本空間デザイン Ⅰ・Ⅱ	建築法規行政 地域計画
	歴史・意匠	建築史概論	西洋建築史	日本建築史
	環境・設備	建築環境概論	建築環境物理 建築環境工学 建築環境計画Ⅰ 建築設備概論	建築環境計画Ⅱ 建築環境実験 建築設備工学Ⅰ・ Ⅱ 都市環境デザイン
	構造	構造力学概論 構造力学Ⅰ 建築構造概論	構造力学Ⅱ・Ⅲ 建築構造計画 建築各種構造Ⅰ・ Ⅱ	
	材料・生産	建築材料概論	建築材料 建築材料実験 建築工法	
	建築総合	ワークショップ	建築応用数学	数値計算法 設計総合演習 ゼミナールⅠ・Ⅱ

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

建築分野で施工管理をめざす

想定される具体的な進路・職種

建築施工管理

建築学においては総合的な能力が必要とされるため、一級建築士受験資格を得るための必修科目でもある建築史、建築計画、建築環境、建築構造、建築材料の各概論を始めとするコア科目を履修することを前提とします。そのうえで、施工管理をめざすための専門科目である建築材料、建築材料実験、生産工学Ⅰ、Ⅱ、建築維持保全などを履修することで、施工管理上必要な知識や方法を身に付けることができる履修モデルを設定しています。

■ - 必修科目 ■ - 選択必修科目 ■ - 選択科目 ■ - 自由科目

区分	授業科目				
	1年次	2年次	3年次	4年次	
理工学部総合基礎部					
専門 教育 部門	理工学 基礎科目	コンピューターリ テラシー	技術者倫理		
	計画	建築計画概論 デザイン基礎Ⅰ・ Ⅱ	建築計画Ⅰ・Ⅱ 都市計画 CADデザイン 基本空間デザイン Ⅰ・Ⅱ	建築計画Ⅲ 建築法規行政	
	歴史・意匠	建築史概論	西洋建築史	日本建築史	
	環境・設備	建築環境概論	建築環境物理 建築環境工学 建築環境計画Ⅰ 建築設備概論	建築環境計画Ⅱ	
	構造	構造力学概論 構造力学Ⅰ 建築構造概論	構造力学Ⅱ・Ⅲ 建築構造計画 建築各種構造Ⅰ・ Ⅱ	建築構造実験	
	材料・生産	建築材料概論	建築材料 建築材料実験 建築工法	生産工学Ⅰ・Ⅱ	建築維持保全
	建築総合	ワークショップ	建築応用数学	数値計算法 ゼミナールⅠ・Ⅱ	卒業研究・卒業制 作

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

建築関連分野をめざす

想定される具体的な進路・職種	公務員、不動産関連
----------------	-----------

建築学においては総合的な能力が必要とされるため、建築史、建築計画、建築環境、建築構造、建築材料の各概論を始めとするコア科目を履修することを前提とします。そのうえで、建築関連分野をめざすためには広範囲の知識が必要となるため、建築学の各分野の科目である建築設計系科目、建築構造系科目、建築環境系科目などを幅広く履修することにより、建築関連分野に必要な総合的な知識や方法を身に付けることができる履修モデルを設定しています。

■ - 必修科目 ■ - 選択必修科目 ■ - 選択科目 ■ - 自由科目

区分	授業科目			
	1年次	2年次	3年次	4年次
理工学部総合基礎部	18			
専門教育部門	理工学基礎科目	コンピューターリテラシー	技術者倫理	
	計画	建築計画概論 デザイン基礎Ⅰ・Ⅱ	建築計画Ⅰ・Ⅱ 都市計画 CADデザイン 基本空間デザインⅠ・Ⅱ	建築計画Ⅲ 建築法規行政 建築デザインⅠ 生活空間計画
	歴史・意匠	建築史概論	西洋建築史	日本建築史
	環境・設備	建築環境概論	建築環境物理 建築環境工学 建築環境計画Ⅰ 建築設備概論	建築環境計画Ⅱ 建築設備工学Ⅰ
	構造	構造力学概論 構造力学Ⅰ 建築構造概論	構造力学Ⅱ・Ⅲ 建築構造計画 建築各種構造Ⅰ・Ⅱ	都市防災
	材料・生産	建築材料概論	建築材料 建築材料実験 建築工法	生産工学Ⅰ・Ⅱ
建築総合	ワークショップ	建築応用数学	数値計算法 ゼミナールⅠ・Ⅱ	卒業研究・卒業制作

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。